



2021年4月1日

各位

会社名株式会社 日宣
代表者名 代表取締役社長 大津 裕司
(コード番号:6543)
問い合わせ先 専務取締役 本間 祐史
TEL. 03-5209-7222

特別利益及び特別損失計上並びに

2021年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、特別利益及び特別損失を計上するとともに、2020年4月14日に公表いたしました2021年2月期の通期業績予想を修正する事といたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別利益と特別損失計上について

(1) 特別利益

当社が所有していた不動産の売却により、売却益が発生しました。これにより、14百万円を2021年2月期第4四半期累計期間において特別利益として計上することを見込んでおります。

(2) 特別損失

当社は2018年12月より株式会社日産社(以下、日産社)を連結子会社としております。今回、日産社について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により売上が減少し、計画の見直しを行いました。

それを踏まえ、日産社の将来収益の再評価により、買収時に発生したのれん等の減損損失17百万円を特別損失として計上することを見込んでおります。

なお、日産社につきましては、すでに各種の立て直し策を講じており、今後も厳しい環境が続く中であっても着実な成長を見込んでおり、今後も引き続きサービスの提供に注力してまいります。

2. 通期業績予想の修正について

(1) 2021年2月期の業績予想数値の修正(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A) (連結)	5,458	331	335	225	116.68
今回修正予想(B)	4,829	292	323	192	97.54
増減額(B)-(A)	▲629	▲39	▲12	▲33	
増減率(%)	▲11.5%	▲11.8%	▲3.6%	▲14.7%	
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	5,081	291	293	197	102.06

(2) 修正の理由

売上高については、当社が長年にわたって培った強固な顧客基盤に基づく事業ポートフォリオにより、放送・通信領域及び住まい・暮らし領域においては堅調に推移し業績を牽引しましたが、新型コロナウイルス感染症の経済的影響を受けやすい医療・健康領域及びその他領域の不足分を完全にはカバーしきれず、計画との乖離が生じました。その結果、売上高は4,829百万円となる見込みです。

利益につきましては、厳しい事業環境にあつて、原価率の改善及び経費の見直しやリモートワーク等による費用の圧縮が奏功し、営業利益及び経常利益については前期比増益となり、営業利益は292百万円、経常利益は323百万円となる見込みとなっています。

また、上記に記載しましたとおり、不動産売却による特別利益14百万円を計上した一方で、日産社の将来収益の再評価により、買収時に発生したのれん等の減損損失17百万円を計上することとなり、その結果、当期純利益は192百万円となる見込みです。

なお、当社では、今後も持続的な事業成長の実現に向け、積極的な事業推進を行い、既存のサービスの安定成長と新規事業への投資を継続することで、さらなる成長を目指していきます。

また、期末配当については予定通りの実施を見込んでおります。

(注) 上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。

以上